

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育（教室不足）環境の改善 (2) トイレや排水溝等衛生環境の改善 (3) 地域の待機児童生徒の救済 (4) 建物の維持管理のため地域コミュニティの組織化
(2) 事業内容	<p>主な事業内容として…</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新校舎の規模は、R.C構造2階建て8教室で、校舎とトイレ及び付帯設備等を建築する。 (2) 什器備品(黒板、先生の机・椅子、児童生徒の机・椅子)を設置する。 <p>中間検査の内容…</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 校舎は、 <ul style="list-style-type: none"> イ. 基礎工事完了。 ロ. 構造工事（柱、梁、スラブ、階段等）完了。 ハ. 壁工事（1階、2階の外壁、間仕切り及び手すり等）1階完了。 ニ. 屋根工事開始。 (2) トイレ等は、 <ul style="list-style-type: none"> イ. 基礎工事完了。 ロ. 構造工事（柱、梁、スラブ等）完了。 ハ. 壁工事（外壁、間仕切り等）外壁完了。 ニ. 屋根工事開始。 (1) 渡り廊下（校舎からトイレ）は、 <ul style="list-style-type: none"> イ. 基礎工事完了。
(3) 達成された効果	<p>工事は工程通り順調に進捗している。</p> <p>上位目標に対して現状…</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 教育（教室不足）環境の改善。 工程は約45%進捗。 (2) トイレや浄化槽等衛生環境の改善。 工程は約35%進捗。 (3) 地域の待機児童生徒の救済。 本案件では、6月1日の始業日に待機児童や編入生等含めて460名の受け入れを予定していたが、その後待機児童を予

	<p>定より多く受け入れたため、児童生徒の総数は494名に達した。</p> <p>尚、増員した分は僧院1階講堂を教室代わりにしている。</p> <p>(4) 建物の維持管理のための地域コミュニティの組織化。 維持管理の財源として7月から僧院学校管理委員会が、銀行に口座を開設して毎月150,000Kyat(約17,500円)を預金し、積み立てを開始した。</p>
(4) 今後の見通し	<p>校舎建設工事は、9月中旬から屋根工事及び木工工事(扉、窓枠等)に着手する。</p> <p>2階の壁工事(外壁、間仕切り壁等)が完成次第、10月中旬から左官工事に入り、平行して建具工事に着手する。</p> <p>11月上旬から内装(電線配線含む)工事や塗装工事に入る。</p> <p>最後に家具(黒板、机・椅子等)類を搬入し、据え付ければ校舎は完成となる。</p> <p>一方、トイレ工事は9月中旬から屋根工事並びに壁(間仕切り)工事に着手する。引き続き10月上旬から浄化槽及び受水槽の工事に着手する。10月中旬からは校舎と同じ工程で進捗する。</p> <p>今後、天候に異常気象が無ければ、新校舎及びトイレは12月中旬に予定通り工事完成の目処が立った。</p> <p>その後、竣工検査を行い、竣工式並びに引渡式を行う。</p>